



スポーツパフォーマンス研究センターの利用促進に向けた、 広報活動の積極的拡大

高橋仁大, 鈴木智晴, 沼田薫樹, 柏木涼吾

背景およびプロジェクト概要

- ◆2022年3月 開催 センター協力者会議にて
- ・スポーツパフォーマンス研究センター（センター）の活動が学外から見えにくい
- ・センターへの申し込みが分かりにくいという意見が挙がった

例えば…

1. ホームページで活動風景がアップされているが、そのページにたどり着くまでに時間がかかる
➤該当ページに容易に飛べるような工夫が必要
2. センターを使用するための申し込み（使用料を含む）が、メールでの問い合わせのみになっている
➤最小限のことをホームページで案内できるようにする

多くの人にセンターの活動を知ってもらうためには、センターの**積極的な広報活動**が求められる。また、今後はパリオリンピック・パラリンピックとコロナ終息に向け、競技者や見学者の増加が見込まれる。これらに対応できるよう、**パンフレット増刷と展示品の場所の確保**が必要である。これまでもセンターとして協力してきた**SPORTEC**では多くのスポーツ関係者との接点があり、共同研究をはじめとした外部資金の獲得に絶好の機会となるものと考えられ、センターの広報活動として極めて重要である。そこで特に以下の4点を強化するためのプロジェクトが必要であると考えた。

- ① ホームページの改修を技術の高い企業に依頼することで、運用時によりタイムリーな情報発信が可能となる
- ② 今後來学するプロアスリートやオリンピック・パラリンピアン等の色紙や記念品の展示を行う
- ③ 施設見学者等へ配布するセンターパンフレットの増刷
- ④ SPORTECでは、大学の広報活動の幅が格段に広がり、多方面の利益が見込まれる。センターの施設、設備に詳しいセンター長をはじめセンタースタッフが参加することは、広報活動の戦力となる

事業実績①

ホームページの更新を随時行ってセンターの活動の広報に務めるとともに、新年度のネーミングライツの契約を踏まえて、ネーミングライツに合わせたホームページの改修を行った。



文字の追加 変更前 ログの追加



図3 HPの変更前後

※ 変更後のホームページは、
令和5年4月以降に掲載した

事業実績②

センターに来訪したプロアスリート、オリンピック、パラリンピアンなどの色紙や記念品の展示を随時行った。



図4 色紙および記念品

事業実績③

センターパンフレットを増刷し、施設見学者等への配布を行なった。また新年度のネーミングライツの契約を踏まえて、ネーミングライツに合わせたパンフレットに改訂し、増刷した。

事業実績④

7月に東京で開催されたSPORTECに、センター長、副センター長、センター特任教員で参加し、本学ブースでのセンターに関する説明や宣伝活動ならびにパンフレットの配布を行なった。また11月に名古屋で開催されたSPORTEC Nagoyaではセンター長による講演を行うとともに、センター特任教員2名が参加し情報収集やパンフレットの配布を行い、広報活動を行なった。

また、令和3年度のセンター報告書を作成し関係各所に送付を行った。



図5 SPORTECの様子

今後の事業の展望

SPORTECにおける広報活動も継続して進めるとともに、他のチャンネルを用いた広報活動も探索していく必要がある。なお令和5年度からはスポーツイノベーション推進機構のスポーツパフォーマンス・コーチング部門の一部としてセンターの機能が存続することから、同部門の活動の一つとしてこの広報活動を位置付けて推進していきたい。

図1 SPRC通信

(Sports Performance Research Center 通信)



図2 SPRC通信のQRコード